

第385回三木市議会定例会 市長 閉会あいさつ

令和7年3月27日

第385回三木市議会定例会の閉会に当たりまして、一言、ごあいさつを申し上げます。

議員の皆さまには、去る2月21日の開会以来、本日まで35日間にわたり、終始ご精励を賜り、令和7年度の当初予算をはじめ、多数の重要案件について、本会議並びに各常任委員会において、それぞれ慎重なるご審議をいただきましたことに、深く感謝を申し上げます。

おかげをもちまして、このたびの市議会に提案いたしました議案につきましては、適切なるご決定を賜りましたことに、厚くお礼を申し上げます。

今期定例会におきまして、議員各位からいただきましたご意見につきましては、十分留意し、今後の市政運営に当たってまいります。

このたびは、市が官民連携により進めている団地再生事業を応援するため、8企業から企業版ふるさと納税として10億円を超える寄附金が寄せられました。いただきました寄附金は、団地再生事業

に活用してまいります。

民間事業者の協力とともに、国の交付金も活用することで、本市の財政負担を大きく軽減することができます。全国的な戸建て住宅団地が抱える課題を三木市から官民連携で解決する、全国の先駆けとなる取組「団地再生事業 青山7丁目団地再耕プロジェクト」をさらに進めてまいります。

3月25日に兵庫県企業庁とひょうご情報公園都市第2期の産業団地整備に関する基本合意書を締結しました。

ひょうご情報公園都市第2期については、令和3年5月に兵庫県企業庁と本市が共同で事業を進めることについて基本合意書を締結しました。このたび、令和6年8月に県が実施したサウンディング調査の結果を踏まえて、公民連携による産業団地の整備を進めることとしたものであり、改めて、兵庫県企業庁と整備に関する基本合意書を締結するものです。

今後は、県と市で公民連携の方策について共同で検討を進めることとし、それぞれの役割分担が固まった時点で県市の取組や整備内容等について協定を締結いたします。

ひょうご情報公園都市は、山陽自動車道三木東インターチェンジに近く、東西はもとより南北にもつながる優れた立地特性を持って

います。全国各方面への迅速なアクセスが可能であり、高い利便性を誇っており、全国的に産業用地が不足する中、これだけ条件の良い場所は他にないと自負しており、新たな産業の立地が期待できます。

ひょうご情報公園都市第2期の整備を進めることで、働く場の創出など、地域の魅力を高め、本市の活性化を図ってまいります。

県と市が今まで以上に協力体制を強固なものとし、さらに民間事業者の経験や資金力を最大限に活用することで、高い相乗効果を発揮し、産業団地の早期完成をめざしてまいります。

また、今月17日から21日までの5日間、全国高等学校・中学校ゴルフ選手権春季大会「春高・春中ゴルフ」が、開催されました。本市で5回目の開催となり、全国の予選を勝ち抜いた中高424人の選手が参加し、市内3か所のゴルフ場において、白熱した試合が繰り広げられた素晴らしい大会でした。地元三木市からは、道上嵩琉（みちうえ たける）さんが中学生の部に出場され、日頃の練習の成果を発揮したプレーにより、2位の好成績を収められ、大いに盛り上げてくれました。

今月20日には、本大会に合わせて「ゴルフまつり」を開催しました。多くの市民にゴルフ場を身近に感じてもらい、ゴルフに触れ

合ってもらおうと、スナッグゴルフの体験をはじめ、子ども縁日やキッチンカーなどもあり、当日は昨年度よりも多い1,350人の方に来場いただき、盛況に終了しました。

去る3月18日には、ゴルフの振興及び人材育成を図り、地域の持続的な発展に寄与することを目的に、三木市ゴルフ協会、関西国際大学とゴルフの振興等に関する連携協定を締結いたしました。

関西国際大学では、令和8年度に、経営学部「ゴルフマネジメントコース」が新たに設置されるとともに、ゴルフサークルのゴルフ部への昇格も検討されています。三者が連携を強化することで、ゴルフ産業を支える人材の育成やジュニアゴルファーの育成など、ゴルフ産業の振興を図り、まちの活性化につなげてまいります。

最後になりましたが、議員の皆さまにはくれぐれも健康にご留意いただき、今後とも変わらぬ市政へのご指導、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。閉会のあいさつといたします。

ありがとうございました。